

宿題『あべこべ』 二人選

家根 一星 選

佳作

回を追う度に詠む句が雑になり
年重ね夫婦逆転妻リード
塩コシヨウ間違え砂糖にわか主夫
おしどりになつて老後は平穩に
あべこべの列車飛び乗り尾行まく
長生きの秘訣は何か医者が問い
孫散步靴あべこべで得意顔
夫見る又洋服がうしろ前
エスカレーターどちら空けるか西東
おんな婿男が嫁の認知され

五客

防衛費かさむと戦匂い出す
草食の彼をさらって妻となる
健康用加湿器が死に至らしめ
かけ込んだ逆方向の終電車
サスペンス鏡の時計鍵にぎる

三才

捕まえる身が捕まった飲酒事故
AIが人を改造近未来
厚化粧隠した皺が浮いて出る

宿題『あべこべ』 二人選

津田 暹 選

(没なし 全句掲載)

前抜

違反した種で威しの北の将

南穂子

ひま人

道花

あさじ

道花

貴香子

和子

貴香子

道花

あさじ

瑞男

南穂子

和子

瑞男

あさじ

貴香子

弘

和子

南穂子

おんな婿男が嫁の認知され
おしどりになつて老後は平穩に
新嫁の流儀で仕切る鍋奉行
年重ね夫婦逆転妻リード
逆襲に持たず妻との口喧嘩
草食の彼をさらつて妻となる
景品が目当てのふる里納税
スタンドの上をさ迷う聖火台

瑞男
道花
一星
道花
弘
和子
ひま人
弘

佳作

イクメンのパパとお遊戯ママ会社
塩コシヨウ間違え砂糖にわか主夫
かけ込んだ逆方向の終電車
あべこべの列車飛び乗り尾行まく
回を追う度に詠む句が雑になり
左右逆靴履き孫が駈けて来る
孫散步靴あべこべで得意顔
夫見る又洋服がうしろ前
サスペンス鏡の時計鍵にぎる
細石巖となりて苔もむす

一星
あさじ
あさじ
貴香子
ひま人
瑞男
貴香子
道花
貴香子
ひま人

五客

AIが人を改造近未来
捕まえる身が捕まった飲酒事故
健康用加湿器が死に至らしめ
厚化粧隠した皺が浮いて出る
長生きの秘訣は何か医者が問い

三才

エスカレーターどちら空けるか西東
防衛費かさむと戦匂い出す
逆走の出口がほしい認知症

あさじ
南穂子
一星

*『あべこべ』の例句を別紙により五十三句鑑賞した。

雑詠 互選句

- | | | | |
|---|----|--------------------|-----|
| ⑤ | 1 | 朝酒が旨いも少し生きようか | ひま人 |
| | 2 | あれ忘れこれも忘れて日が暮れる | あさじ |
| ⑤ | 3 | おい二人硬と軟とで凌ぎ合う | 道花 |
| ① | 4 | 「おつかけ」でめつきり減った医者通い | 和子 |
| | 5 | 訪れた姿も無惨阿蘇神社 | 貴香子 |
| | 6 | 原発の稼働で休暇減りますか | 南穂子 |
| ④ | 7 | 五巡目の春になぜまた地震国 | 貴香子 |
| | 8 | 掌中の珠を見送る父の背 | ひま人 |
| ② | 9 | 人権と自由の国も病んでいる | 弘 |
| | 10 | 新党の旗の彼方は蜃気楼 | 一星 |
| | 11 | 妻の笑み海馬微妙にギアチェンジ | 瑞男 |
| ③ | 12 | ツンとしているがカラーはサトイモ科 | 弘 |
| ③ | 13 | 眠そうな振りをしている老いの知恵 | あさじ |
| | 14 | パナマ文書天下人にも欲しい金 | 南穂子 |
| ④ | 15 | 伴走者なき人生をまだ生きる | 和子 |
| ④ | 16 | 富裕層濡れ手で粟の税回避 | 瑞男 |
| | 17 | 靖国の生命の数を花吹雪 | 一星 |
| ① | 18 | 嫁の味旬の素材を散らつかす | 道花 |

☆今月の佳句鑑賞

◎『あべこべ』

逆走の出口がほしい認知症

家根 一星

高齢者の車事故が増えている、認知症による高速道路や一方

通行での逆走も多い。出るに知られず事故に至ってしまうのだが、ここでの出口は、実際の出口だけではなく、とこうした問題への出口も欲しいと訴えているようでもある。

◎『自由吟』

老い二人硬と軟とで凌ぎ合う

伊藤 道花

熟年離婚が取り沙汰される昨今だが、「柔よく剛を制す」と言われように、作者の家庭では時に軟の妻が硬の夫を制しながら、お互いに苦難を乗り越えてきているのであろう。もつとも、最近では軟が夫の場合も増えてはきているので逆かもしれないが。

☆優れた鑑賞文の鑑賞

優れた鑑賞文に触れることによって、句の読解力を強め、結果として作句力・選句力の向上につなげたい。

良妻で賢母で女史で家にゐず

川上三太郎

さすがにオチがいい。まことにいつ電話しても家にいない女が多くなった。しかしこれからは家にいて、しかも偉いヒトで良妻賢母、という女も出てくるかもしれぬ。女の能力は今やどんどん開発されつつある。それに発想の転換は女のほうが早く、「こない、してみよやないの」と苦もなく古い慣習を変改したりする。男もいつまでも「女は可愛けりやいい」などといっている、時勢にとりのこされるのである。川柳も既成観念によりかかっている。末期の『柳多留』風に動脈硬化になってしまう。日々、変化流転

する世態にいつお好奇心をもつて、「こない、してみよやないの」
精神で挑戦して頂きたいものである。

＊『川柳でんでん太鼓』 田辺聖子著 より



次回のご案内

7月9日(第二土曜日)

課題 『ユニーク』 三句 (二人選 当日二組出句)
自由吟 (来月互選用) 二句 (連記で可)

＊お休みの場合は課題、雑詠共、句会日一週間前迄に
遅宛に直送下さい。急な場合は直前でも結構です。

(郵送・FAX・メールで可)